

国語科



学習する意義

みなさんが社会の中で生きていくために、欠くことのできない大切な力になるのが国語の力です。国語によって、多くの知識や知恵を知り、学んでいくことができます。また、国語の最も基本的な役割ですが、ことばや文字によって気持ちを伝え合いコミュニケーションを成立させることができます。

その力をつけるためには、まず、ことばについて興味・関心をもって学習に取り組み、一人ひとりがもつ能力を、十分に発揮することが大切であると考えています。日常生活のなかで、ふと気づいたことばの問題を深く考えることによって、ことばへの興味・関心を高め、さらに友達との話し合いなどの機会を通して、ことばの感性を磨き、ことばを確かに豊かに使うことができるようになるのだと思います。友達との豊かな話し合いの体験を数多く重ねてほしいと思います。

また、情報化社会といわれる現代、さまざまな情報を収集し、分析し、活用することが必要です。多種多様な文章を読んだり、書いたりすることによって、自分の考えをさらに深め、広げていくことができます。

1 ことばの力

ことばの力は、急にはつきません。体の成長と同じで、いつ大きくなったのかわからないけれど、確かに大きくなっています。手軽にすぐ、つくものではありません。しかし、だからこそ、よく聞き、話し、実際に読み、手を動かして書く。その体験が必要です。どれだけ多くの体験を積み重ねられたかということがことばの獲得にかかわってきます。

2 身につけてほしい国語の力

①「話すこと・聞くこと」

スピーチ、インタビュー、パネル・ディスカッション、シンポジウムなどの多様な活動を行い、その具体的な方法を理解するとともに、何のために話すのか、誰に対して話すのかといった明確な相手意識と目的意識を身につけてほしいです。

②「書くこと」

感想文、手紙・通信文、意見・報告文など、多様な書く活動を通して、具体的な書き方を理解するとともに、書くことの楽しさを身につけてほしいです。スタートは視写から始めるとよいでしょう。

③「読むこと」

「生きる力」を育てる、価値ある文章を読むことにより、広く豊かな考えを自分の中に育ててください。また、読むことの楽しさを実感し、豊かな読書生活につなげていってください。

古典を読むことによって、伝統文化にふれるとともに古人のものの見方や考え方を理解し、現代との違いや共通点を読み取ってほしいです。

教科書は、小学校の時と同じように音読しましょう。音読は国語の力をつけるのに大変効果的です。

④「言語事項」

〔言葉の学習〕〔文法〕〔漢字の学習〕から、集中的かつ系統的に学習し、言語感覚を磨き、語彙を豊かにしてほしいです。何度も繰り返し学習することが必要です。

学習のしかた

1 国語の授業のノートの取り方

- ① 国語の時間は縦書きです。大学ノートを一冊準備してください。
- ② 板書（先生が黒板に書いたもの）を必ず写しましょう。先生の話の内容や気がついたこと、自分の考えや一言感想などを毎時間 気づいた時に書きとめておきましょう。これが考える力になっていきます。
- ③ 鉛筆は、濃いものを使ってください。そして、文字はあまり小さくならないように適当な大きさに、丁寧に書いてください。青色と赤色のペンを必ず、筆箱に入れておいてください。



2 国語の学習記録

国語のノート以外にも自分の学習の記録としてプリントや自分が書いた作品があります。それらは、ファイルにとじて残していきます。

国語の授業中に配布したプリントは、専用のファイルを作りとじていきましょう。

3 読書生活の記録

読書が生活の一部になることを願って、読んだ本の記録を残していきます。読書記録カードは生活記録についています。

国語の教科書にある「100冊」リストの中から、年間30冊程度を目安に、読書に親しむようにしましょう。また、書物だけでなく、新聞のコラムなどを読むように心がけましょう。

4 漢字学習

日常生活に困らない程度に、漢字を書けるようにするために、漢字練習ノートを準備し、漢字練習をしていきましょう。小学校で習った漢字1006字は読めて書けるようにするのはもちろんのこと、中学校で習う936字を習得できるように繰り返し練習しましょう。意味のわからない漢字はすぐ、辞書を引いてください。漢字検定に挑戦するのも、漢字力を高めるためには効果的です。

5 辞典類の活用

ことばの力をつけるために、日常生活の中で、疑問に思ったり、わからなかったりしたことばは、辞典で調べる習慣をつけましょう。